

愛媛若葉ひろみ句会

只ついで歩く役目の蟻もゐて

大川 眺春

蝶の羽のヨットゆらぎて蟻の海路

毛利 敦

吊り橋の真んまん中や風涼し

小西 あや

舞殿や柱の陰に置く蚊遣

梶原 一美

父の日や父の教えを今にして

松岡 寛孝

よき夢も抜けてゆくなり籠枕

伊藤 京

青田道抜けていつもの美容室

井谷 けい

風鈴や短冊ゆらし選びをり

福本 恵子

出合ふたび歩み止めるる蟻と蟻

浜田 千鶴

雨止むや追ひ立てるでと蟬の鳴く

高田 弘子

立ち止まる子の足元に蟻の道

藤田 光子

七階の屋上で見る姫路城世界遺産となりし優姿の映ゆる

蛭谷 寿子

展示されし友等のちぎり絵若き日の楽しき思出重ねて眺む

高田 治子

玩具色のトロッコしたがえ予土線の列車見送る平和うれしき

佐々木登美子

雨上り向いの山は合歡の花淡いピンクで心やすらぐ

兵田トミ子

若き日に夫と詣でし妙心寺花園町をテレビはうつす

山本まつゑ

お隣の塀に巻き付く朝顔の色とりどりにしばし見とれる

芝 幸子

若き姪夫の急死に戸惑えど「おばちゃん私は大丈夫」と泣く

二宮 安恵

忘れ得ぬ過去を捨てねば幸せも病もすべてこれがさだめか

伊手リツエ

鹿子百合真夏の光り浴びて咲く潮の香恋し故郷想う

西添 春子

ひぐらしのしきりに啼きぬ弟の逝きたる報せに上京できず

武田 幸子

広見短歌会

Grace's Story [No. 1]

「Impressions of Kihoku」

鬼北町に来てから、あっという間に1か月が経ちました。毎日、初めての体験ばかりの新鮮な日々を過ごしながら、日本についてさまざまなことを学んでいます。2年前、東京のICU大学に留学していた頃に比べ、鬼北町の方が真の日本という感じがします。私にとって鬼北町の人たちは、とても親切です。地域の人々が一体となって、協力し合っているところ、大きなイベントがたくさんあるところなど、鬼北町での生活は楽しみばかりです。

私は鬼北町に来て、日本とアメリカとの違いを実感しました。私が生まれ育ったノースカロライナ州の家は庭がとても広大なため、隣に住む

人たちと顔を合わせることがほとんどありません。窓の外をのぞくと、家は1軒しか見えないのです。しかし、私が現在住んでいる鬼北町の家は、隣の家との距離が近いので、毎朝、隣に住んでいる人たちと出会い、「おはようございます!」とあいさつを交わすことができます。

鬼北町の山は人間の腕のように町全体を包み込んでいます。その風景を見て、鬼北町全体が1つの家族のように感じます。とても素敵なことだと思います。

もうすぐ、英語の授業で鬼北町の子どもたちに会えることを、とても楽しみにしています!



鬼北町外国語指導助手
通称：グレース
アメリカ合衆国ノースカロライナ州出身
※10月6日から毎週木曜日、
英会話教室を開講します